

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

浅川町長 江田 文男

市町村名 (市町村コード)	浅川町 (075043)
地域名 (地域内農業集落名)	山白石 (山白石)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年8月29日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地域は山間部にあり、田畑が点在し一枚当たりの面積が少なく総合的な効率が悪い。耕作に必要な水利条件も悪く、水の確保にも苦労があり、用排水路整備が必要である。主だった特産品になるようなものがなく、反収がはかばかしくなくとも水稻中心となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

田の耕作については、高齢者が多くなっているが後継者がいない方がほとんどである。今後耕作、維持管理ができなくなり、圃場が荒れてしまうことが懸念される。担い手、認定農業者の育成は喫緊の課題として、JAや関係機関と対応を協議し、認定条件の緩和や補助の増大などの見直しをし、農業で生計を立てたいと思う施策を打ち出すことを望む。また地域の地質、気候、日照条件等知見データから何が地域の農産物として有利か等分析、模索し、国、県、町等関係機関を巻き込んでの取り組みが必要である。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	131.36 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	131.36 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地又は林地との間にある農地は保全・管理を行う区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地バンクを活用して、担い手、認定農業者を中心に農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
担い手の経営意向を踏まえ、農地バンクを活用した農地集積を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
山間部に位置し、各ほ場が狭小である。当面、中山間・多面的機能直接支払制度を活用しながら維持管理を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
関係機関と連携し、地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら定着できるよう支援する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
草刈り等保全・管理の負担が軽減されるようサービス事業者への委託も検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①イノシシによる被害が多いことから、電気柵の設置や目撃情報の共有などにより対策を行う。③作業効率化のためスマート農業の導入も検討する。④水稲栽培に向かない田については畑地化する。⑦耕作が困難な農地については中山間、多面的の組織活動を中心に保全に努める。⑨耕種農家、畜産農家が混在する地区のため相互に供給を行う。